



### 前橋の電光

1955年8月2日18時30分ころ群馬、長野方面で発生した雷雨は激しい活動を示し、前橋附近に多数の落雷を生じた。写真は前橋測候所で撮影した落雷の電光で、前景は前橋の市街である。雷雲の電氣的活動が激しいとき、落雷は0.1~0.01秒の時間間隔をおいて3~4回、放電

路が発光する多重雷撃となることが多い。たまたま放電路が風に流されるときは、つぎつぎとおこる放電路の発光が、少しずつずれていわゆるリボン電光となる。下と右の写真は風によるものではないが、カメラの横方向のズレのために多重雷撃の電光がリボン電光として写し出されている。(気象研究所 北川信一郎)

## 目次

表紙写真 関東地方の前線と雲 (毎日新聞社提供)

前橋の電光 ..... 北川信一郎 表紙2

総説 | 凝結核に関する最近の研究 ..... 黒岩大助 ..... 1~7

報 | 福島市の酷暑 ..... 梅田三郎 ..... 8~10

文 | 気象学および海洋学  
 における放射性元素の役割 ..... 杉浦吉雄 ..... 11~14

レプリカ溶液についての二三の注意 ..... 小林禎作 ..... 15~20

蒸発教位とその推定 ..... 久保次郎 ..... 21~24

雲鏡 ..... 25

書 | 地学教育講座 第2巻

評 | 気候と人間 ..... 26~27  
 気象電気学

講座とは何か ..... 27

「故伏木測候所長大森虎之助君をしのびて」について訂正 ..... 27

高木健君の逝去を悼む ..... 佐藤順一 ..... 27

前線と雲 (表紙写真説明) ..... 奥田穰 ..... 28

日本雪氷学会創立について ..... 今井一郎 ..... 28

地方だより 名瀬測候所 ..... 比嘉政雄 ..... 表紙3